

# シャープ通信

2019年3月 Vol.11

先輩の皆さまに、会社の旬の話題や、私たちのがんばっている様子をお届けします。応援よろしくお願ひします！

社長室 広報担当

## 2018年度 第3四半期 決算を発表

1月30日(水)、当社は2018年度第3四半期の決算を発表しました。東京ビルにて開催した決算発表会では、副社長の野村さんが連結業績概要について説明しました。(詳しくは、当社ホームページの「投資家情報」をご参照ください)



### <2018年度 第3四半期 連結業績概要>

(単位:十億円)

	2017年度	2018年度	
	3Q	3Q	前同比
売上高	714.2	642.5	-10.0%
営業利益	29.7	21.2	-28.6%
経常利益	29.9	18.8	-37.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	20.6 (2.9%)	22.1 (3.4%)	+7.3%

### <2018年度 第1～3四半期累計 連結業績概要>

(単位:十億円)

	2017年度	2018年度	
	1Q-3Q	1Q-3Q	前同比
売上高	1,829.4	1,771.5	-3.2%
営業利益	70.3	68.2	-3.0%
経常利益	71.1	62.0	-12.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	55.3 (3.0%)	63.0 (3.6%)	+13.9%

決算について説明をする副社長の野村さん

### <当社の第3四半期連結業績概要>

- ・事業環境を勘案し、上期から継続している「量から質へ」の転換をさらに推し進めました。
- ・その結果、米中貿易摩擦や大手顧客の需要変動などが売上に影響するなかにあっても、前年同期を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益と利益率を確保することができております。
- ・4月から12月までの累計の最終利益率は、過去最高となっております。

### <2018年度 通期連結業績予想>

- ・米中貿易摩擦の影響等により、デバイスの顧客需要に変動が生じたことなどから、通期の業績予想を見直しています。
- ・「量から質へ」の転換・体質改善が進んでいることから、親会社株主に帰属する当期純利益は10月30日に情報修正した前回予想を達成できる見通しです。
- ・最終利益率は、平成の30年間で過去最高となる見込みです。

当社は「グローバル事業拡大」という重点戦略に沿って、さまざまな8K関連機器やデバイス、AIoT機器やサービスも開発しており、さらにはこれらを融合して、スマートホームやスマートオフィス、スマートファクトリーの創出を進めています。

こうした方向性のもと、「新規事業の創出」「グローバルでの事業展開」「M&Aや協業による社外リソースの取り込み」「競争力の強化」により事業成長を図るとともに「技術とブランドに特化した企業」への転換を進めていきます。そして、事業ビジョン「8KとAIoTで世界を変える」を実現してまいります。

## 「第34回 HiViグランプリ 2018」にて、当社8K TV『AQUOS 8K』<8T-C80AX1>が「GOLD Award」を受賞

株式会社ステレオサウンドが発行する有力AV専門誌「HiVi」(ハイヴィ)主催の「第34回 HiViグランプリ 2018」で、当社8K TV『AQUOS 8K』<8T-C80AX1>が最高賞の「GOLD Award」を受賞しました。



左: 選考委員長の麻倉怜士氏  
右: 取締役副社長執行役員の石田さん



GOLD Awardを受賞した<8T-C80AX1>

HiVi誌は1983年に創刊し、家庭用オーディオビジュアル専門誌としては日本において最も権威あるメディアの一つです。当社のGOLD Award受賞は、「HiViグランプリ2012」の4K対応液晶テレビ受賞以来、6年ぶりの快挙となります。

選考委員を務められたAV評論家の皆様よりいただいたコメントを一部ご紹介します。

麻倉怜士氏: 「今年のHiViグランプリは8K元年を祝った。[ゴールド・アワード]に輝いたシャープ8T-C80AX1は、同社の長年にわたる8K研究、エコシステムとしての8K展開、ディスプレイ性能の高さ・・・が、最高位にふさわしいステータスと評価された」

潮晴男氏: 「見事[ゴールド・アワード]を射止めたシャープ8T-C80AX1は、受賞に相応しい完成度の高さを示した。単に8K放送に対応するテレビというだけでなく、80型モデルには独自の技術的アプローチを盛り込み、最終的な仕上がりは高画質にける彼らの意気込みを充分に感じさせるものだった」

## 日刊工業新聞社2018年(第61回)「十大新製品賞」日本力(にっぽんぶらんど)賞を当社製スマートフォン AQUOS zero が受賞

日刊工業新聞社 2018年(第61回)「十大新製品賞」において、当社製有機EL搭載のスマートフォン AQUOS zero が、特別賞にあたる「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞しました。



「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞した  
AQUOS zero



左: 日刊工業新聞社代表取締役社長 井水氏  
右: 取締役副社長執行役員の石田さん

「十大新製品賞」とは、優秀新製品の開発奨励と産業界の技術水準向上を目的に、日刊工業新聞が創設した制度です。各年の新製品の中から、学会、研究機関、産業界など、各界の見解を広く求め、新製品を厳選し表彰するものです。今回「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞したAQUOS zeroは、約6.2インチの大画面でスマートフォンAQUOSとして初めて有機ELディスプレイを搭載し、フレームにマグネシウム合金、背面に軽量で強度の高いアラミド繊維※1を用いることで、画面サイズ6インチ以上・電池容量3,000mAh(公称値)を超える防水(IPX5以上)対応のスマートフォンとして世界最軽量※2の約146gを実現しました。

※1 高強度、高弾性、高耐熱性、高耐薬品性の合成繊維。

※2 2018年12月現在。当社調べ。

## シンガポール(SSC)にて、拠点設立33周年記念式典および新製品発表会を開催

1月14日(月)、Sharp Singapore Electronics Corporation Pte. Ltd. (SSC)がサンテック・シンガポール国際会議展示場にて、拠点設立33周年記念式典及び新製品発表会を開催しました。これは、1986年に当社がシンガポールに拠点を設立してから、今年で33年目となることを記念して開催したもので、120名を超える取引先の方々に加え、在シンガポール日本大使館からのゲストもお招きする等、盛大な会となりました。



式典に参加された皆さん



SSC社長の早川さん



常務執行役員 社長室長兼アセアン代表の橋本さん

## ミャンマーの最大級商業施設内に当社旗艦店をオープン

1月23日(水)、Sharp Thai Co., Ltd. (STCL)が、ミャンマーの首都ヤンゴンにある最大級商業施設 ミャンマープラザにて、現地の有力小売店であるTMWグループとともに、初となる旗艦店を開業することを発表しました。



テープカット式の模様

今回の出店を皮切りに、これまで空白地となっていたミャンマー市場に本格進出し、当社のグローバル事業拡大に向けた取り組みを加速してまいります。

## 新型ロボホン3機種の新製品発表会を東京で開催

2月18日(月)、東京ビルにて、モバイル型ロボット『RoBoHoN(ロボホン)』の新たな取り組みとして、新製品3機種の発表会を開催しました。(2月18日より予約受付開始、2月27日発売)



新型ロボホン  
＜SR-03M-Y＞＜SR-04M-Y＞＜SR-05M-Y＞



スマホを利用して、外にいながら  
お子さまの様子を見守ることができます

● 希望小売価格は「ロボホン」3G・LTEモデル＜SR-03M-Y＞180,000円/Wi-Fi®モデル＜SR-04M-Y＞120,000円。「ロボホン ライト(RoBoHoN lite)」非歩行・Wi-Fi®モデル＜SR-05M-Y＞79,000円(いずれも税別)。

### ＜ロボホン3機種の主な特長＜SR-03M-Y＞＜SR-04M-Y＞＜SR-05M-Y＞＞

1. 二足歩行が可能な2機種に加え、“着座”タイプを新たにラインアップ
2. 「お留守番」や家電連携、プログラミングなど、日常生活で楽しく便利に使える多彩な機能\*
3. 法人向けに「施設案内」や「受付」アプリを新たに提供\*

メディア関係者からは「『第一世代との互換性を重視して開発した』とのコメントに、これまでのユーザーも大切にしているシャープの姿勢を感じた」「BtoB展開を強化する方針は、ロボット事業の拡大に向けて正しい戦略だと思う」「ロボホンはとても可愛い。今回、ロボホンライトでお求め安くなったので、家庭で使うユーザーが増えるだろう」といったコメントをいただきました。

※ ダウンロードが必要なアプリケーションや有料のアプリケーション・サービスも含まれます。  
法人向けアプリのご利用には、別途システム構築などの費用がかかる場合があります。  
法人でのご利用に関するお問い合わせ先: biz-robohon@sharp.co.jp

## 紙パック式キャニスター掃除機＜EC-VP510＞の新製品発表会を大阪で開催

2月12日(火)、大阪市内の電子会館において、紙パック式キャニスター掃除機＜EC-VP510＞の新製品発表会を開催しました。(2月21日発売)

### ＜主な特長＞

1. パイプ部にドライカーボンを採用、“手元質量”<sup>※1</sup>  
1.2kgと軽量化し、掃除中の手元荷重を約44%低減<sup>※2</sup>
2. 身体をかかめずに立ったまま簡単着脱、業界初<sup>※3</sup>  
玄関専用ブラシアタッチメント「スグ換え玄関ブラシ」
3. 掃除をラクに楽しくする3つの機能「ラグ越えヘッド」  
「スグトルブラシ」「マジックバランス」



メディア関係者からは「『スグトルブラシ』『スグ換え玄関ブラシ』はきれい好きの主婦には”待ってました”の機能だと思う」「かがまず着脱のできる『スグ換え玄関ブラシ』は高齢者にぴったり。今後は掃除機のAIoT化に期待している」といったコメントをいただきました。

※1 ホース、パイプ、吸込口の合計質量。

※2 ホース部のハンドルを高さ85cmの位置で保持した場合に手元にかかる荷重を測定。

従来モデル＜EC-KP15P＞:720g、新モデル＜EC-VP510＞:400g。

ハンドルを保持する位置・ホースの状態により異なります。

※3 国内向けの家庭用キャニスター掃除機において、吸込口から玄関ブラシへの差し替えが立ったまま可能な着脱構造を有する玄関専用ブラシ。当社調べ。2019年2月12日現在。